

STUDENT EXCHANGE NEWS



近江兄弟社中学・高等学校 国際交流委員会・留学生センターニュース

ISSUED BY THE INTERNATIONAL EXCHANGE COMMITTEE, OMI BROTHERHOOD SR. & JR. HIGH SCHOOLS

Welcome to Omi Brotherhood Senior High School !

千客万来 姉妹校からの受け入れ

11月は、高校2年生全員が海外研修旅行（アジア各国とオーストラリア）に参加しました。その一方で、その訪問地の3つの学校からの受け入れもありました。

11/17 金～20 月	姉妹校 Wesley Methodist School (マレーシア)	生徒 37 名	先生 2 名
11/18 土～20 月	姉妹校 長栄高級中學 (台湾)	生徒 30 名	先生 2 名
11/24 金～27 月	姉妹校 St. Andrew's Jr. College (シンガポール)	生徒 34 名	先生 4 名



チャリティクんと一緒に

Wesley Methodist School は、2002年の海外研修旅行から交流をはじめ、今年で16年目になります。姉妹校提携は、2006年に締結されました。相互に訪問し合う良

い関係が続いています。

長栄高級中學は、1990年の第1回分散型海外研修旅行で訪問したのが始まりですが、その後

は途絶えていました。昨年、同校の方から交流再開と姉妹校提携の働きかけがあり、交流が始まりました。今年1月に姉妹校提携をし、11月の海外研修旅行で2度目の訪問となりました。同校からの受入は今回が初めてです。今後一層交流が深まることが期待されます。St. Andrew's Jr. Collegeとの交流の写真は、次号に掲載します。



みんなで仲良く記念撮影

交流の様子

Wesley Methodist School



マレーシアの生徒たちのパフォーマンス



箏曲部の演奏



弓道場で記念撮影

長栄高級中學



初めての茶道体験



箏曲の音色を堪能



本校生と一緒にランチタイム

留学レポート(2)

すべてが新鮮で良い経験

H22 米澤 玲音
姉妹校留学

Citipointe Christian College (オーストラリア)
2017/7/15 ~ 9/30



僕は、7月15日から9月30日までの約2か月半の間、オーストラリアのブリスベンにある”Citipointe Christian College”という学校に留学していました。僕はそこでたくさんのことを学ぶことができました。

僕は留学へ行く前の事前学習会の際の発表で大きく3つの目標を掲げていました。まず1つ目は自分自身の英語力の向上でした。このコースには3人の留学生がおり、僕がそのうちの1人だったのですが、あとの2人は1年間滞在のコースだったためその2人に比べると英語を学ぶ期間は非常に短かったのです。しかし、自分にとってはとても良い経験になり、ある程度の英語力を身につけられたように感じています。家ではできるだけホストファミリーと喋るように努力するため、あまり自分の部屋に籠り過ぎずにリビングにいるようにし、積極的に会話に入っていました。もともと文法などが苦手なスピーキングやリスニングが好きだったため、自分の好きだったことを思う存分伸ばすことができたととてもうれしかったです。

学校では、姉妹校の中にある、“International College”に通っていたのですが、最初の登校日のときに英語力テストをし、その実力でクラス分けをされました。僕は1番下のクラスに入り、すべての英語を基礎からしっかりと固めることもできました。特に文法の授業ではとても努力しました。そのお陰もあり、現在はある程度の文法は理解できるようになりました。ライティングの授業もたくさんあり、自分で考えたスト

ーリーを書いたりしていたため、はじめは数行しか書けなかった内容の文章が今では同じ内容で数十行書くことができます。

2つ目は、海外から見た日本を見たいということでした。私たちが普段当たり前だと思っていることが外国から見た際には大きく変わってくるがあると思っていたからです。実際、文化の違いや生活習慣の違いなど現地で体験しなければわからなかったことを沢山体験できて良かったです。例えば日本では玄関で靴を脱ぐ習慣がありますが、外国にはそういった習慣はあまりなく、そのまま外靴で家が上がっていました。他には学校の休み時間の制度が日本とは大きく異なっており、日本では各授業の間に5分から10分程度の休憩がありますが、オーストラリアの学校はその小さな休憩がなく、1、2、3限目が終わるとモーニングティーという40分ほどの休憩時間があります。その後、4、5限目を行い、40分程度のランチタイムで持ってきたお昼ご飯を食べます。ランチタイムのあとは6、7、8限目を行って下校または部活に行くという形です。オーストラリアの授業は、1コマが40分程度のため、8限目までありますが、学校が終わるのは3時20分です。これらはほんの一部にすぎませんが、日本とは全く異なった制度や文化を持った外国で生活できたのはとてもいい経験でした。

3つ目は自分自身の成長でした。普段両親に頼ってばかりの生活を送っていた自分から抜け出し、少しでも自立して両親の役に立てることができるようになりたいと思っていました。実際、毎日常事をしてくれている母親、そして朝早くから夜遅くまで働いている父親にはとても感謝しています。オーストラリアではホストファミリーにそういったことはしてもらえず、たとえしてもらってもそれはホストファミリーに対してとても失礼になってしまいます。かといって自分の本当の両親にはしてもよいというわけでもありません。だから、「自分自身を変える」という目的もありました。

こうしたたくさんの目的を持ち、オーストラリアに留学に行った結果、すべてが新鮮で自分自身にとってとても良い経験となりました。こんな滅多に体験できない貴重な留学をできたことに感謝しています。これからの家や学校での生活がより良いものになるよう努力していきたいと思います。

心の底から感謝

111 一門 央
姉妹校交換留学
St.Patrick's College(オーストラリア)
2017/721 ~ 9/2



St. Patrick's College 中期留学という貴重な経験を通して、私は成長し、目標にしていたことが達成できたと感じています。

一軒目のホストファミリーの Clark 家は酪農家です。初日は彼らの牧場へ、2 日目は彼らの親戚のウール工場へ連れて行ってもらいました。3 日目はフランキーと友だちのアイリッシュと、ロンセストンへショッピングに行きました。アイリッシュとは初対面だったので、初めはお互い緊張していましたが、すぐに打ち解けることができました。2 人に St. Patrick's College のことをたくさん聞いてしまいました。2 人は嫌な顔 1 つせずにとたくさん話をしてくれました。2 人のお陰で緊張も少しほぐれ、初日から友だちもでき、うれしかったことを忘れません。

学校では、みんな優しくて目が合うたびに微笑んでくれました。日本ではあまり経験したことがないので初めは戸惑いましたが、徐々に慣れて自然に振る舞うことができました。また、みんな学年や性別に関係なく仲良くしてきてだなと思いました。制服に着替えたときは、St. Patrick's College の生徒になれた気分でした。ですが、初めの 1 週間、英語を聞き、話すときに緊張して焦ってしまい、会話が弾まないことが多々ありました。それで、ネットなどで英語に関することをたくさん調べました。しかし、焦りが勝ってしまい、調べたことを活用できず、心が折れそうでした。ある日、それに気付いてくれた友だちのローレンがカードゲームをしようとみんなに提案してくれて、人と話すという緊張をほぐしてくれました。その日から、友だちもたくさん話せるようになり、彼女にはとても感謝しています。

週末は家族でフレシネ半島へ旅行に行きました。1 日目はフレシネ国立公園でハイキングをしてワイングラスベイを見に行きました。その最初の夜は家族みんなでピザを食べながらたく

さん話しました。1 週間が経ってどう思うか、や、オーストラリア独特の言葉も教えてもらいました。2 日目は、ホストファミリーの船で釣りをしに行きました。魚は釣れませんでした。野生のアザラシを見ることができました。食後はみんなでカードゲームをして仲が深まりました。日本では、家族とカードゲームを滅多にしないので新鮮で、年齢も関係なく盛り上がり、楽しかったです。3 日目は朝ごはんは皆でパンケーキを作り、帰りました。その時に初めてベジマイトを食べました。言い表しにくい味で、とてもしょっぱくて私の口には合いませんでした。家族の仲も深まり楽しかったです。

2 週間は学校にも慣れて、授業は難しかったです。フランキーのお陰で参加することができました。社会の授業では、日本の原爆の話をしていたのでびっくりしました。また、改めて原爆について考えることができました。放課後には友だちたちとロンセストンでショッピングをしてからロンセストン大学の劇団のミュージカルを見にいきました。たくさん友だちと話せ、楽しかったし、自分の英語力の向上が感じられうれしかったです。週末は友だちとホバートへ旅行をしました。ホバートではマーケットに行き、買い物をしました。タスマニアの特産物をたくさん見ることができて興味深かったです。

あつという間に 3 週間目に突入し、寂しかったことを思い出します。だけど、新しいホストファミリーに会うことが楽しみでした。その時にまた成長を感じました。私は恥ずかしがり屋な性格で初対面の人と会う前はとても緊張してしまいます。しかし、緊張は一切しませんでした。

二軒目のホストファミリーの Tys 家では「自分のことは自分です」というルールで助けてもらいながらも昼食作り、家事の手伝いをしました。おかげで生活力が身についた気がします。私は日本の家ではすべてお母さんに任せているので、無知なことが多く、初めは情けなく思いました。ですが、サムが教えてくれたおかげでだいたいのことができるようになり、自分に自信がつかしました。

学校では新しい友だちもでき、男の子が多かったので車の話などをよくしました。ここには日本の車が多く、とても人気でした。なので、日本語の発音を聞いてきてくれたり、関心を持ってくれてうれしかったです。4 週目は私にとって、とても重要で忘れられない週です。なぜなら、私たちが全校集会でスピーチをした週だからです。とても緊張しましたが、がんばりました。終わってからたくさんの人と話し、たくさんの友だちができました。また、このとき気付いたことがあります。それは、挨拶にありま

す。初対面の人でもみんな朝は、"How are you?" か"Did you have a good sleep?"、金曜日の放課後は、"Have a good weekend!!"などと声をかけてくれます。

5 週目はさらに友だちもたくさんできて、英語にも慣れ、学校生活にも慣れてとても充実していました。友だちの映画作りを手伝ったりもしました。サムが来年留学することもあり、いろいろな国の話をする機会がありました。家族とは進路の話や、世界の話を話せてさまざま考えがあり、自分も頑張ろうと思いました。また、私は簡単な英語でしか話せないのもっと勉強してたくさんの人と考えを共有したいという意欲が湧きました。

週末は、家族とマラクープ鍾乳洞に行きました。生まれて初めて行く鍾乳洞はとてもきれいで感動しました。そのあとに皆でピクニックをしました。みんなでサンドウィッチを作って食べて、オーストラリアンフットボールをしまし

た。そのあと、友だちと大学の女性ラグビーの試合を見に行きました。顔にペインティングをしてもらい、ラグビーのルールがわからない私に友だちが丁寧に教えてくれてたので、とても楽しめました。

私はずっとタスマニアにいたかったです。学校最後の日、私は悔いのないように思いっきり楽しんで来ようと思いました。各クラスではいろいろな人と話し、友だちともたくさん話しました。帰るとき、とても悲しくて泣いてしまいました。そしたら、友だちがハグをしに来てくれたり、メッセージカードをくれたり、ばいばい!と言ってくれて本当に恵まれているなと心から感じました。この経験は、たくさんの人のお陰で充実させることができたと思います。本当に心の底から感謝しています。私は、このとても貴重な経験をこれからの人生に活かしていきます。

放送礼拝より

コロラドカレッジ卒業生で、9月から1年間、学園に滞在するデイビッドさんが、10月17日(火)の放送礼拝で話をしてくださいました。遅くなりましたが、英語の部分を紹介いたします。

ハロウィンの思い出

David Isaac Berger Todisco (デイビッド)

コロラドカレッジからの研修生

出身国：アメリカ

出身校：Colorado College

期間 (予定) 2017/8/21 ~ 2018/7/30



Good morning everyone, for those who do not know me yet, my name is David Todisco. I am from Massachusetts State, but I graduated from Colorado College. In College I studied Japanese and studied abroad here, in Japan, two times. Two and a half years ago I studied at ICU (国際基督教大学) for one semester. Before that semester began, I actually visited Omi Kyodaisha! After that semester

I went home for the summer, then returned to Japan to study at 関西外大 for four months. One of the reasons why I began studying Japanese in high school, was that my great grandmother (ひいおばあちゃん) was Japanese!

Now we're halfway through October, which means Halloween is in two weeks. In America, Halloween is one of my favorite days every year! There are many reasons why I love it. Dressing up in costumes, eating candy, and staying out with friends late at night is always fun and exciting. But one of the greatest things about it is how just one day can bring a whole neighborhood together to have fun! When I was younger, everyone in my neighborhood would gather together for a BBQ in the evening while wearing their costumes! We would play games and eat food, and once it began to get dark, all of the kids would go out "trick or treating".

Another fun Halloween tradition is to dress up in costume for school! Many people like scary costumes, but cute and funny costumes are also very popular. One time, when I was in middle school, I dressed up as a rabbit!

I hope everyone has a happy Halloween.

